

編集委員 藤城 光弘, 佐田 尚宏, 四柳 宏
山本 頼正, 松田 尚久, 山道 信毅
中井 陽介, 角嶋 直美, 小池 和彦
寺井 崇二* (本号特集企画者*)

目次

Guest editor

特集／肝硬変 — 最新の治療

巻頭言	寺井 崇二	1103
1. 治療介入		
(1) ウイルス性肝硬変の治療 (HCV, HBV)	田畑 優貴, 竹原 徹郎	1104
(2) MASH 由来肝硬変とアルコール関連肝硬変の治療の違い	池嶋 健一	1111
(3) 栄養療法	徳本 良雄, 日浅 陽一	1116
(4) サルコペニアと肝臓リハビリテーション	橋田 竜騎, 川口 巧 他	1125
(5) 高齢者の肝硬変の治療介入の注意点	名越 澄子	1132
(6) 肝硬変に対する移植治療 — 適応, 治療の現状, 今後	斐 成寛, 長谷川 潔 他	1139
2. 合併症の治療と対策		
(1) 合併症(脳症・腹水など)の管理 — 薬物療法を中心に	宇野女慎二, 清水 雅仁 他	1147
(2) 合併症(食道胃静脈瘤など)の管理 — 内視鏡・IVR を中心に	石川 剛, 高見 太郎	1157
(3) 門脈血栓症と血小板減少症の病態と治療	日高 央 他	1165
(4) 臓器相関(肝肺相関)	厚川 正則	1173
3. 次世代治療, 技術の可能性		
(1) 肝線維化改善, 再生療法 — 線維化治療剤の開発状況を踏まえて	阿部 寛幸, 寺井 崇二	1181
(2) 肝発癌予防薬の可能性	藤原 直人, 中川 勇人	1190

〔連載〕見落とし症例から学ぶ胃癌内視鏡検査

症例 6 見直して認識できる病変	片桐 敦	1197
「胃炎の京都分類」の使い方		
第 32 回 地図状発赤とフジツボ様病変の関係は?	春間 賢 他	1201